

Weekly コラム

令和元年 10 月 29 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

ニュージーランド “ハカ”

現在、日本でラグビーのワールドカップが開催されています。ラグビー好きの人なら、ニュージーランド代表オールブラックスが試合前に行う「ハカ」という民族舞踊を知っているはずです。

しかし、なぜ彼らが「ハカ」を踊るのかというと、マオリ文化における伝統的な踊りであり、戦いの前に士気を高めるために行うとの事です。それ以外にも人を歓迎する際や葬儀の時など、別な目的や状況でも披露されることがあります。

この「ハカ」は、2つの理由から戦闘の場で行われていました。1つ目は相手を威嚇するためです。マオリの戦士たちは、ハカの中で目を見開いたり、舌を大きく突き出したりと攻撃的な表情で舞い、さらに武器を叩いたり振り回したりしながら、威嚇目的で低くうなったり叫んだりします。

そして、2つ目の理由は士気を高めるためです。彼らは闘いに勝利するためにも、ハカを踊ることで戦争の神に呼びかけていると信じていました。それはとても激しい振付とテンポの揃った踊りで、マオリ族にとっては勇気と力を与える踊りだったのです。このタイプのハカは、ペルペルハカと呼ばれています。

その後、時間が経ってハカは進化し、戦闘以外の場面でも踊られるようになりました。コミュニティーが一致団結するためのものとなり、群衆と強さの象徴となったのです。このタイプのハカはングリハカと呼ばれます。

ペルペルハカと違いングリハカでは武器になる道具を使用しないのが特徴で、これは目的が違うからです。相手に恐怖を引き起こすためではなく、単に参加者を感動させる、楽しませる、盛り上げるといった目的に踊られるのです。

「ハカ」は、男性でも女性でも踊ることが出来ますが、中には女性のためだけに作られたハカもあるそうです。さて、ニュージーランドのラグビー代表「オールブラックス」が他の国際チームと対戦する時に最も演じることの多いハカは、カ・マテハカと言われ、「カマテ！カマテ！」と叫ぶこのハカを思い浮かべることが多いはずです。このカ・マテハカは、元々儀式的なハカとしてマオリ人のテ・ラウパラハによって書かれたのが始まりだそうで、死を乗り越えた後に、命を祝うために作られたハカなのです。

是非、オールブラックスの試合を見る機会がありましたら、試合前の儀式である「ハカ」に注目してみてください。最後の歌詞「ア・ウパネ、カ・ウパネ、フィティ・テ・ラ！ヒ！」は、「上へ向かって進め！さらにもう一步！太陽は輝いている！立ち上がれ！」と訳されています。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。